

## 当院において神経内分泌腫瘍の治療を受けられた患者さんへ

### 研究協力をお願い

（研究目的）神経内分泌腫瘍の治療方針を確立することが目的です。

神経内分泌腫瘍は稀少疾患であり、2010年の本邦における全国集計では膵神経内分泌腫瘍が1273人、消化管神経内分泌腫瘍が2093人と報告されています。新規発症は年間10万人あたり1.27人です。世界的にも稀少な病気であり、WHO分類といえども混乱があり、その腫瘍学的特性は確立していません。本研究により腫瘍の予後因子が明らかになり、適切な治療選択ができるように多施設で経験を持ち寄って解析します。

### （研究内容）

あなたが手術を受けた際に、本学医学部附属病院病理部において病理検査が行われております。これは神経内分泌腫瘍の進行度を顕微鏡検査でみるものです。その際に、作成されたプレパラートと術前に撮影したCT、MRI、PET、サンドスタチンシンチ画像や血液検査の結果を本研究では用います。また、カルテから性別、年齢などの情報と再発時期や治療などの病気の治療経過に関する情報を抽出して用います。さらに、手術前に研究のためにあなたの腫瘍を凍結保存することに同意された方に関してはその凍結組織も使わせていただきます。具体的には2000年4月1日から2021年3月31日までに、当院で手術を受けられた患者さんを対象としております。当科で行えない実験や結果の評価を研究分担機関として、産業技術総合研究所 細胞分子工学研究部門 佐藤隆先生にご協力を依頼しております。実験依頼に際し、あなたの凍結病理組織、凍結組織切片、ホルマリン固定パラフィン切片を提供することになります。なお、個人を特定できるようなお名前・住所といった情報は一切公表いたしません。また、研究結果の発表時にも個人情報を使用いたしません。多施設で情報を共有する際には個人が特定されないように、研究固有のIDを作成し、このIDを使って情報交換や議論を行います。多施設共同研究の成果は、国際的には英語論文発表し、国内の学会などでは日本語で発表します。本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、医学部臨床研究利益相反委員会に申告を行い、承認されています。

以上の趣旨をご理解いただき、是非この研究にご協力いただけますよう、お願い致します。本研究への参加を希望されない場合は、遠慮なく下記問い合わせまでお申し出ください。なお、研究協力者となった場合であっても、この研究のためにあなたにさせていただくことは特にありません。

（研究課題名）神経内分泌腫瘍における糖転移酵素の発現解析

（承認番号）「第M2017-354番」（実施責任者）工藤 篤

（研究実施期間） 医学部倫理審査委員会承認後から令和8年3月31日

（費用について） この研究の費用は研究費で賄われます。研究参加への謝礼はありません。

（研究についての問い合わせ等の連絡先）

東京医科歯科大学医学部附属病院 肝胆膵外科学分野 工藤 篤

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

電話：03-5803-5928（平日 9：00～17：00）

（苦情窓口）東京医科歯科大学医学部総務係 03-5803-5096

（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）